

# 水戸病院だより

Mito Hospital News



第100号

2024年4月(春号)

## 広報誌「水戸病院だより」のこれまでの軌跡



過去の水戸病院だより集

### CONTENTS | 目次

- P2-P5 おかげさまで100号 水戸病院だよりの歴史
- P6 医局レポート「胃癌についてのお話」
- P7 健康コラム「シニアの皆さん、健康診断を受けていますか？」
- P8 暮らしに役立つ情報「新しい季節を迎えるためのカラダ作り」
- P9 イベント「令和6年開院記念式・公式X開設」
- P10 特集「知ってほしい!介護医療院 第2回」
- P11 特集「令和6年4月よりコロナ治療薬は保険適用へ変わります」
- P12 ちょっと教えて「2病棟の障害者一般病棟とは?」
- P13 バトンタッチ放談・みちくさ
- P14 外来診療担当案内・施設のご案内

### 正信会 理念

病める人に寄り添った質の高い保健・医療・介護の提供

### 基本方針

- 地域に根差した信頼される施設づくりに励みます
- 思いやりの心を大切にすべての人の尊厳を守ります
- 新しい知識・技術を求め日々研鑽に努めます

TAKE FREE

ご自由にお持ち帰り下さい

外来診療費のお支払いはクレジットカード決済ができます。※入院費等のお支払いはできません。

# おかげさまで100号

# 広報誌で振り返る水戸病院だよりの歴史



## ●平成9年9月 創刊号

発行当初の広報誌はB5版見開き8ページのフルカラーで発行しました。当時の病院長、吉松秀則先生が「今や情報化時代。私達が行っている、これらの医療、介護、福祉をこの水戸病院だよりを通じてお伝えします」と述べています。ここから、「水戸病院だより」の歴史が始まります。



### 広報誌発行時期

主な掲載内容または当時の委員会活動

平成9年9月創刊号	水戸病院だより創刊
平成10年1月2号	病院東棟の増築工事(平成9年11月当時)
平成10年5月3号	東棟増築棟完成
平成10年9月4号	わが病院ドクターの紹介(平成10年9月当時)
平成11年1月5号	須恵中学校生徒のワークショップ
平成11年5月6号	第2回ふれあいコンサート開催
平成11年9月7号	トリアージュ法による初の防災訓練
平成12年1月8号	平成20年介護保険制度スタート
平成12年5月9号	訪問看護・ヘルパーステーションの紹介
平成12年9月10号	須恵第3小学校とニューライフ須恵交流会
平成13年1月11号	部署紹介(外来)、バトンタッチ放談スタート
平成13年5月12号	部署紹介(病院事務)
平成13年9月13号	当院委員会による独自編集開始
平成14年1月14号	誌面レイアウト刷新(全10ページ)
平成14年4月15号	今号より季節に応じたレイアウト採用
平成14年7月16号	部署紹介(1病棟)院内行事紹介
平成14年10月17号	平成14年8月より外来当直制開始
平成15年1月18号	元X-JAPANTOSHISANさん慰問
平成15年4月19号	画像診断(FCR導入)介護介護支援センター
平成15年7月20号	専門外来(禁煙外来)開設
平成15年10月21号	表紙写真の外部提供受入れスタート

### 病院の情報を伝えて27年

広報誌「水戸病院だより」は平成9年9月に創刊されて以来、27年の歳月を経て、今号で100号目を迎えました。これを記念し、「水戸病院だより」が誕生してから今までの広報誌発行の歴史や広報企画委員会における活動を、紙面とともに振り返ります。



## ●平成13年9月 13号

水戸病院だより発行開始から4年目。広報委員中心として制作を行っていましたが、この年より広報企画委員会が発足。これまで業者委託で発行していた広報誌を、当院オリジナル、かつ独自編集・製作を開始しました。13号よりA4版へ拡大し、誌面の充実化に向けた大きな一歩でもあります。



## ●平成20年1月 38号

平成20年代は少子高齢社会に入った時代。この当時より猛暑日が続き、国内最高気温が記録されるようになりました。その頃ではまだ考えられなかったことが起こり始めていましたが、当時の吉松院長は「少子高齢社会のなか、子供は大事にすくすく育て、高齢者が安心して暮らせるように」と新春のあいさつの言葉の中で述べられています。

平成16年1月22号	平成16年4月23号	平成16年7月24号	平成16年10月25号	平成17年1月26号	平成17年4月27号	平成17年7月28号	平成17年10月29号	平成18年1月30号	平成18年4月31号	平成18年7月32号	平成18年10月33号	平成19年1月34号	平成19年4月35号	平成19年7月36号	平成19年10月37号	平成20年1月38号	平成20年4月39号	平成20年7月40号	平成20年10月41号	平成20年1月42号	平成20年4月43号	平成20年7月44号	平成20年10月45号	平成21年1月46号	平成21年4月47号	平成21年7月48号	平成21年10月49号	平成22年1月50号
------------	------------	------------	-------------	------------	------------	------------	-------------	------------	------------	------------	-------------	------------	------------	------------	-------------	------------	------------	------------	-------------	------------	------------	------------	-------------	------------	------------	------------	-------------	------------

- 第1回SQM発表大会
- 通所介護事業所デイサービスセンター開設
- 住宅型有料老人ホームコンフォート須恵開設
- 住宅型有料老人ホーム建設について
- 白橋病院長、吉松副院長就任
- 新型インフルエンザと風邪の違い
- 健康教室開催(生活習慣病予防)
- 病気シリーズ「こどもの生活習慣病」
- 須恵町特定高齢者介護予防お元気クラブの紹介
- 第14回ふれあい夏祭りの紹介
- 特定健診・特定保健指導の案内
- クラブ活動の紹介 宗像24時間駅伝参加
- 正信会ホームページ紹介
- NST(栄養サポートチーム)稼働施設認定
- 正信会ホームページリニューアル
- 満足度アンケート調査報告
- 健康シリーズ「腰痛の基礎知識」
- 病院機能評価更新の更新受審(2回目)
- 正信会音楽の集い開催
- 特集：・専門外来の東洋医学(三宅先生)
- 経鼻内視鏡設備の導入
- 広報企画委員会の活動紹介
- 健康シリーズ「食中毒に注意」
- 院内感染対策研修・ホスピタルフォーラム
- クラブ活動の紹介 正信会野球部
- 表紙写真一般受付スタート
- 健康シリーズ「タバコと健康」
- 摂食嚥下運動病院施設内の全館禁煙
- 須恵第3小学校健康ふれあい夏祭り

## 広報誌発行に際しての変化も遂げました

「水戸病院だより」という名で創刊された広報誌。27年という歴史の中で、当病院をご利用して頂く患者様や地域の皆様に向けて発行するため、親しんで頂けるようさまざまな変化をしてきました。創刊当初は広報誌を発行するための組織が形作られたグループを結成し、当時の事務スタッフや看護婦スタッフなどが中心となり、水戸病院や併設施設ニューライフ須恵などを紹介して参りました。発行から5年の平成12年頃までは年3回の発行をしていました。平成13年4月より広報誌発行として広報企画委員会が発足。同年9月より、これまでB5版からA4版へと拡大し、かつ委員会独自を開始。



## ●平成22年4月 47号

発行開始から13年目。この年は住宅型有料老人ホームコンフォート須恵が6月にオープンした年です。生活支援サービスなど未来の介護を見据えた施設です。施設名のコンフォートは快適・安楽・満足を意味する言葉です。



●平成23年7月 52号

発行開始から丸13年目の夏。この年の3月に日本列島を襲った未曾有の東日本大震災が起こった年でもありました。現地では病院や介護施設でも大きな被害を受けました。当院ではこれを機に1食1円募金を開始し、毎年、義援金として被災者1人ひとりへと復興のお手伝いをし始めた頃でもあります。



●平成26年12月 64号

この時期の広報誌はほぼレイアウトは確立されており、医療関連のほか行事・イベントの紹介を中心とした掲載内容です。平成26年当時は正信会のふれあい夏祭りのほか、外部イベントで宗像24時間駅伝への参加などを紹介しています。

広報誌発行時期

主な掲載内容または当時の委員会活動

平成23年4月51号	特集「口腔ケアのシステム化」原病院口腔歯科医
平成23年7月52号	平成23年4月より温冷配膳車を導入
平成23年10月53号	表紙レイアウトの見直し
平成24年1月54号	病院機能評価更新の更新受審(3回目)
平成24年4月55号	福岡県知事表彰(栄養及び食生活改善)
平成24年7月56号	地域連携室リニューアル(4階↓1階移設)
平成24年10月57号	訪問薬剤指導の紹介(薬剤師がご自宅へ)
平成25年1月58号	訪問栄養指導の紹介(管理栄養士がご自宅へ)
平成25年4月59号	平成25年開院記念式・永年勤続表彰
平成25年10月60-61合併号	ふれあい看護体験(須恵高校・博多高校)
平成26年1月62号	健康教室(冬に流行する感染症)
平成26年6月63号	第4回SQM発表大会アザレアホール須恵開催
平成26年12月64号	表紙タイトル色に季節感ある仕様へ
平成27年5月65号	第6回音楽の集い開催
平成27年8月66号	広報企画委員会主体の独自編集再開
平成27年11月67号	水戸病院短時間通所リハビリ開始
平成28年1月68号	介護教室開催(ケアルートサービス様共催)
平成28年3月69号	口腔ケアの必要性(口腔ケア委員会)
平成28年8月70号	病院QCサークル大会参加(聖ルチア病院)
平成28年11月71号	第21回ふれあい夏祭り 第8回音楽の集い
平成29年1月72号	特集余った薬、どうすればいい？
平成29年4月73号	特集薬の食前・食中・食後とは？
平成29年8月74号	認知症カフェ開催(ニューライフ須恵主催)
平成29年11月75号	通所リハビリの集団体操「笑いヨガ」
平成30年1月76号	音楽の集い(職員と須恵高校吹奏楽部による演奏)
平成30年4月77号	福岡栄養関係功労者県知事表彰(栄養課)



●平成23年10月 53号

平成21年からスタートした健康教室もこの年で3回目の周期に入った時期でした。広報誌も表紙レイアウトデザインも一新し、発行する時期に合わせた季節感ある写真を採用。過去のこれまでは病院や併設施設の関連性がある写真を使用していましたが、柔らかい印象を持つため、当時、通院患者様で写真愛好家の方からの写真を提供していただき、表紙リニューアルとしました。



# 医療・介護をより身近に感じてもらええるような広報誌を目指します

## 広報誌「水戸病院だより」発行開始から27年



### ●令和3年 90～91号

約30年を要し、令和3年9月に新しい水戸病院が完成し、広報誌90号および91号には内観の紹介や内覧会開催の様子を紹介しました。当時はコロナ禍による緊急事態宣言下だったため、盛大な式典は控えていましたが、近隣の医療機関様など、たくさんのお祝いを頂戴しました。令和の時代より、水戸病院の新たなステージが始まります。

令和6年1月	99号	シリーズ紹介(介護医療院)全4回開始 特集「病院で使うカルテの今昔話」
令和5年10月	98号	特集「マイナンバーカードの保険証利用」
令和5年7月	97号	水戸病院創立75周年記念式典
令和5年4月	96号	シリーズ紹介(歯の健康)全4回開始
令和5年1月	95号	岩佐医局長就任
令和4年10月	94号	特集「リハビリ体操くいつでもどこでも体操く」
令和4年7月	93号	特集「新型コロナウイルスのQ&A」
令和4年4月	92号	新病院内覧会
令和4年1月	91号	新病院竣工式
令和3年10月	90号	新病院内観紹介、写真で見る病院の歴史
令和3年8月	89号	新病院ルート案内(旧館閉鎖)
令和3年1月	88号	病院オンライン面会受付開始
令和2年10月	87号	写真提供者 内田義春様追悼
令和2年7月	86号	特集「新型コロナウイルス感染症」
令和2年4月	85号	正信会法人オリジナルロゴマーク完成
令和2年1月	84号	水戸病院介護医療院の開設(老健棟4階)
令和元年10月	83号	健康教室「私たちもいつかは救急隊員」
令和元年7月	82号	正信会法人オリジナルロゴマーク企画始動
平成31年4月	81号	新病院増改築工事開始
平成31年1月	80号	新病院の増改築工事が始まります
平成30年10月	79号	特集 緑黄色野菜をもっと摂りましょう
平成30年7月	78号	

### ●令和2年1月 84号

84号広報誌より、新たに製作した正信会のロゴマークを採用しました。83号以前は病院機能評価の認定ロゴマークを採用していました。水戸病院はシンボリックなマークを有してなく、事業所名称で表してきました。令和2年当時は、新病院増改築工事が進んでいく中、病院が新棟へと変わっていく中で、正信会水戸病院という独自性を際立たせる狙いもありました。広報誌での紹介をしていますが、法人ロゴマークの紹介はホームページでデザインコンセプトの掲載をしています。



正信会の頭文字「S」をモチーフとしたデザイン。青色は病院、赤色は老健、緑色は在宅の姿を示し、当法人内の全職員が手を取り合い、地域の医療・福祉を支えていく姿がひとつになるようなイメージです。

# 医局 レポート

DOCTOR  
REPORT

正信会 水戸病院  
医師

王寺 裕

PICK  
UP!

## 胃癌についてのお話

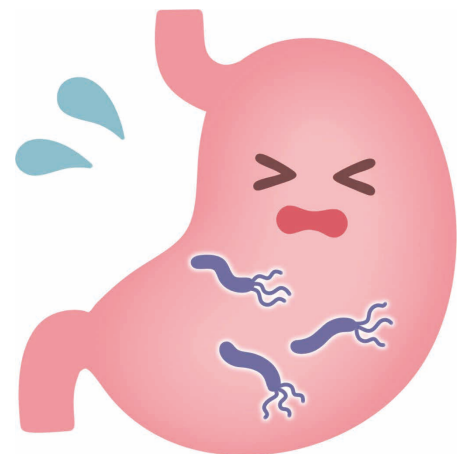
今回は胃癌に関してお話をしたいと思います。世界的に東アジアは胃癌の多い地域ですが、日本では一生のうち男性は約10人に1人、女性は約21人に1人が胃癌に罹患します。以前は日本人の癌死亡数の第1位は胃癌でしたが、最近は診断や治療法が進歩し、男性では第3位、女性は第5位となっています。それでも日本では2021年に胃癌で亡くなった方は、男性27,196人、女性14,428人であり、依然として多い状況です。

胃癌の原因については多くの研究が行われており、塩分やアルコールの多量摂取、喫煙などがリスクとして指摘されていますが、ヘリコバクターピロリ菌の感染が一番重要です。胃癌の約99%がピロリ菌の感染と関連があります。そしてピロリ菌に対して除菌治療を行うことで、胃癌に罹患する危険性が30～40%ほど低下することが分かっています。

胃癌の早期発見のためには検診が重要ですが、日本の胃癌検診の受診率は男性が約46%、女性は約35%で、検診対象者の半数以上の方が未受診という状況です。日本では前記の様に毎年4万人以上の方が胃癌で命を失っています。そのほとんどの方がピロリ菌感染が原因で胃癌になったと考えられますが、ピロリ菌の除菌を受けていればかなりの方が胃癌にならず、また胃癌検診を定期的に受けていれば大多数の方は胃癌で命を落とすことを避けることができます。

ピロリ菌に感染しているかを調べる検査は検診でも行うことができますが、胃内視鏡検査で慢性胃炎が認められた場合は、公的医療保険で検査が可能です。胃癌検診の方法は胃X線検査または胃内視鏡検査ですが、ピロリ菌を除菌されたことがある方はより精度の高い胃内視鏡検査をお勧めします。

胃癌はピロリ菌除菌によって罹患リスクを減らすことが可能で、また検診で早期発見することによって早期治療での根治が可能な病気です。健康を保つために、胃癌検診をぜひご検討ください。



## 人生100年時代を健やかに過ごすために シニアの皆さん、健康診断を受けていますか？

令和の時代に入り、時代は大きく変化しています。私たちはますます長く健康で充実した人生を送ることが期待されています。これからの100年人生を健やかに過ごすためには、健康維持が欠かせません。

健康診断は、その基盤を築いていく上で欠かせない重要なステップです。定期的な検診や定期受診を受けることで、早期発見・早期治療が可能となります。そして、健康の問題を未然に防ぐことも期待できます。年齢を重ねるごとに健康リスクは増加しますが、定期的な受診や健診を受けることで、そのリスクを最小限に抑えることができます。

健康寿命を維持し、いきいきとした暮らしができるよう、何ができるでしょうか。



### 持病で通院していても健診は受けられる？



持病の治療で行う検査は、治療をしている病気に関するものだけです。それ以外の病気は見落とされる可能性もあります。例えば、糖尿病で通院している場合、通常は血糖に関する検査と合併症に関する検査などを行う場合があるため、それ以外の病気を見つけることはありません。全身の状態をチェックするには定期的な健診が望ましいです。



### こういったことも注意が必要です

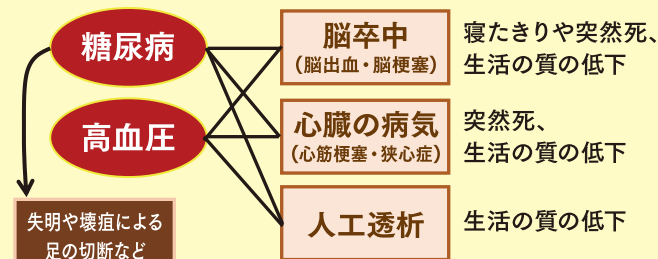
シニア世代は服用するお薬の種類が増えがちになります。そのため、お薬の飲み忘れ・飲み残しや副作用も起こります。お薬で疑問や不安がある時は医師や薬剤師に相談しましょう。その際、お薬手帳を持参するとスムーズにお話できます。

### 健康寿命をのばすキッカケは？

健診の目的は、病気の早期発見・早期治療だけではありません。日頃の生活習慣を見直すキッカケとして活用すれば、健康寿命を延ばすことにもつながります。高血圧症や糖尿病などは放置すると寝たきりや突然死を引き起こす可能性があります。生活習慣を見直し適切な治療を受けることで、重症化を防ぐことができ、これからの生活が楽しく過ごせる機会にもなります。



### 生活習慣病の重症化は、健康寿命にも大きく影響を与えます



認知症は、アルツハイマー型によるものが一番多いですが、脳卒中の後遺症による脳血管性認知症も原因の1つです。

また、最近では糖尿病の方は認知症になりやすいデータもあります。

生活習慣病対策は認知症予防にもつながります。



水戸病院の健診センターは、地域の皆様の主体的な健康管理を支援しています。また、健診後でも丁寧なフォローアップ(二次健診や保健師による面談指導など)も対応します。私達は、健康のためのかかりつけ医のような立場であると考えています。医師をはじめ多くの医療スタッフが皆さまの健康生活を支え、信頼されるパートナーとなるよう努力してまいります。

**健診センター直通 ☎ 092-935-3799**

## 新しい季節を迎えるためのカラダ作り

～季節の変わり目には要注意～

令和6年2月19日当時は二十四節気では雨水。

この時期は降る雪が雨と変わり、雪解けが始まる頃で、農耕をはじめめる時期の目安とされています。この日の九州地方は季節外れの強風に見舞われ、福岡管区気象台では春一番を観測したと報じていました。

今は春を迎えています、季節はずれのような、日中の温かさもあり、服装の調整が難しいのではないのでしょうか。

4月からは進学や引っ越し、就職に異動など、社会生活においても何かと慌ただしい時期。心身ともに季節の変化の順応できるよう、整えていきましょう。

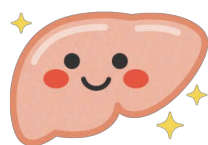


### 季節の変化に順応する身体づくりを

季節に変わり目によく見聞きする花粉症。

重度の花粉症の方にとっては春先はとても息苦しい生活を送っていたと思います。カラダも季節の変化に対して、内臓(五臓六腑)も活発化してくると云われます。

冬の寒い時に、体中に溜め込んでいた不要なもの(老廃物や脂肪)をとにかく一気に排出しようとフル稼働し、これが春先で感じる疲弊感の一因とも云われます。



東洋医学では肝臓に血液が不足すると精神的に安定せず、イライラや不眠、メンタルの不調が生じやすくなったり、血液の巡りが滞ることで肩こりや筋肉がひきつりやすくなります。



### 心身の調子を整える季節の食材は?

肝機能を高めるものとして“酸味”を上手に日々の食事に取り入れることが有効です。酸味は春の乱れやすい内臓の働きを正常に戻したり、疲労回復にも寄与します。

酸味の代表として柑橘系フルーツは巡りをよくするといわれ、紅茶をレモンティーにする、フライにレモンをかけるなど、ちょっとしたところに取り入れてみるのもいいと思います。

### 大切なのは“心と身体のバランスと向き合い方”

温かい春の時期は、冬に溜め込んでしまった脂肪や老廃物などを体外へ排出しやすくなります。すなわちデトックスのチャンスです。

ヒトの体は元々、体内の不要なものを排出する機能が備わっているので、それを上手く利用していけば、体に負担をかけずにデトックスすることも可能です。

食事以外の運動や日常生活にも、ひと手間かけた習慣付けをするだけでも変化を感じることができます。

「早寝早起き」「軽い運動」「アロマなど心地よい香りでのリラックス」などで心身ともに安定していくことが期待できます。





## 開院記念式 医療法人社団正信会

正信会水戸病院は昭和48年、須恵町に開業して早51年目を迎えます。  
これからも地域の皆様に寄り添い、心のこもった医療と福祉を提供し続けて参ります。



増田理事長祝辞



令和6年3月1日、当法人の開院記念式および  
永年勤続表彰を開催しました。  
今年度は51名の職員が永年勤続表彰を受けま  
した。  
これからも職員一同、地域のため、医療・介護  
サービスを提供してまいります。



白橋病院長祝辞



永年勤続表彰者代表謝辞  
(老健2階:石橋様)

### 令和6年正信会開院記念 永年勤続表彰受賞者

勤続35年表彰 1名	勤続15年表彰 5名
勤続30年表彰 1名	勤続10年表彰 10名
勤続25年表彰 5名	勤続 5年表彰 22名
勤続20年表彰 7名	

## 正信会水戸病院、公式X(旧Twitter)始めました!



@s\_mito\_official

もっと身近に感じてもらえるよう、  
SNSを活用した情報発信に!

医療法人社団正信会は公式X(旧Twitter)を令和5年12月開設し、翌年1月より  
発信を開始しました。

当法人内の水戸病院や介護医療院、併設介護老人保健施設ニューライフ須恵、  
コンフォート須恵など、各事業所などの情報やイベントなどをお知らせしています。

スタートして間もないですが、皆様に当法人内の姿も含めてたくさん発信してまい  
ります。ぜひフォローしてチェックしてみてください。





# \ 知ってほしい! / 介護医療院

自宅で過ごすように、  
ありのままの毎日を

正信会水戸病院の介護医療院を深掘りしながら  
4回に分けてご紹介する特集ページです

## シリーズ 第2回 ケアプランとケアカンファレンス

前号(第1回目)の紹介で介護医療院についてご紹介しました。  
第2回目の今号は「ケアプランとケアカンファレンス」についてご紹介します。

介護医療院に入所中のケア(看護・介護・リハビリテーションや医療等も包括し、  
気遣い、心を込めて世話をすること)については“ケアプラン”という計画書に基づ  
いて実施しています。

ケアプランについては、ケアマネージャーが作成しますが、プランの内容について  
はケアマネージャーが単独で決めるわけではなく、関係者全員で話し合いながら  
検討を行っています。そして、その話し合いの機会がケアカンファレンスになります。

ケアプランについては、入所時や入所後1か月程度、その後は3か月程度で見直  
しを行っています。ケアの方針が変更になる際には適宜検討を行っています。



多職種スタッフによるケアカンファレンスの様子



主治医も入所者の  
状態をみながら回診します

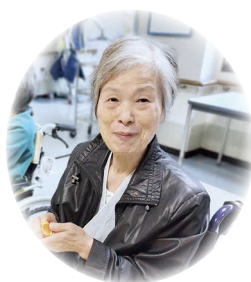
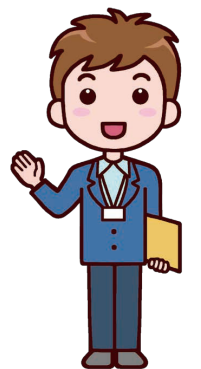


ケアカンファレンスでは、ご本人様に対して施設でどのようなケアを行っていくかを検討  
します。この話し合いの内容を基に、ケアマネージャーが自立支援と尊厳の保持を踏まえ、  
個々の入所者様にあったケアプランの原案を作成します。

ご本人様、ご家族様の希望を踏まえ、本人様の施設での生活状況を見ながら、それぞれの  
専門スタッフの意見を元に今後どのようなケアを行っていくか、具体的内容や方向性を調  
整します。関係者の情報共有の機会でもあり、ひとつのチームとしてケアの実施計画をします。

水戸病院介護医療院では主治医、薬剤師、看護師、介護士、リハビリスタッフ、歯科衛生  
士、管理栄養士などの多職種から意見を出してもらっています。

コロナ禍からご家族のカンファレンスへの参加の機会を作ることが出来ていない状況が  
続いています。現在、感染対策状況をみながら希望されるご家族がカンファレンスへの参加  
できる機会を作るように検討を行っています。



作成したケアプラン原案については、ご家族へ説明を行い同意を得たうえで本案としてケアを行うことになります。  
ケアプランの説明の際に不明な点や変更希望があればケアマネージャーにご相談ください。



# 新型コロナウイルス感染症

## 令和6年4月からの 治療薬の費用は保険適用へ

治療薬:経口薬(ラゲブリオ、パキロビット、ゾコーバ)、点滴薬(ベクルリー)

### 3月31日まで

治療薬の薬剤費のうち、上限額を超える部分を公費で負担

【上限額】

3割負担の方	2割負担の方	1割負担の方
9,000円	6,000円	3,000円

※各治療薬共通



### 4月1日から

- 通常の医療体制に移行し、公費負担は終了
- 医療費の自己負担割合に応じた、通常の窓口負担へ

医療保険において、毎月の窓口負担(治療薬の費用を含む)について、高額療養費制度が設けられており、所得に応じた限度額以上の自己負担は生じません。

※コロナ治療薬は、医師が必要と判断した方に使用します。

※高額療養費制度は、家計に対する医療費の自己負担が重くならないよう、医療機関や薬局の窓口で支払う医療費が1か月(暦月:1日~末日)で上限額を超えた場合、その超えた額を支給する制度です。詳細は、厚生労働省のホームページをご参照ください。



## 2病棟の “障害者施設等一般病棟”とは？



当院3階(2病棟)はいわゆる障害者一般病棟と呼ばれるところです。ここに入院できる方は、主に長期にわたり療養が必要な、重度の肢体不自由の方と、重度の障害をお持ちの方が安心して入院治療を受けることのできる病棟です。スタッフも手厚く配置されており(看護配置10:1)、医療処置やリハビリテーションを中心に患者様の機能維持・回復に努めています。行為が多く必要な場合に適しています。こういった病棟になるのかをご紹介します。

### 対象となる入院患者とは？

代表的な疾患としては以下のとおりです。  
なお、下記以外にも適用となる疾患があります。

- 重度の肢体不自由者
- \*脊髄損傷の重度障害者
- 重度の意識障害者
- 筋ジストロフィー患者
- 神経難病患者など

\*脊髄損傷の障害者とは  
脳卒中の後遺症および認知症の患者様は除きます

耳慣れない病名ですが、厚生労働大臣が定める難病疾患に罹患された患者様が主な入院対象となります。

その他に、人工呼吸器管理を必要とする方など、さまざまな病態の患者様が治療を行っています。



医師を中心として看護師やリハビリスタッフなど、チーム医療で患者様が安心して入院治療を受けることのできる病棟です。

長期にわたる入院が必要な患者様がその人らしく快適に療養生活を送れるよう環境を整えるとともに、適切な治療やケアを行っています。



### 療養生活は？

障害をお持ちの患者さんは、長い間入院することが必要になることがあります。その時、私たち病棟スタッフは、患者様とご家族様の家族とのコミュニケーションを大切にしています。

また、入院中には体の自由が制限されることがあり、患者様が不自由な思いをすることがあります。例えば、食事やベッド移動などです。そんな時には、私たちは患者さんの体の安定を保ちながら、車椅子やリクライニングチェアなどへの移乗を手伝い、快適な生活を送っていただけるよう配慮しています。



電動リフトを使用したベッドへの移乗

### 医療費助成制度があります

難病法などの医療費助成の制度があります。障害者一般病棟にご入院される患者様で難病や障害を有する患者様等を対象に受けられる医療制度です。

公費保険	制度の主な内容
難病医療費助成制度	難病指定に罹患する方で指定された医療機関で治療を受ける場合に適用。
重度障害者医療費助成制度	重度の身体障害を有する方に対する保険。

※申請手続きは自治体にお問い合わせください。  
なお、手続きにあたり診断書等が必要となる場合があります。

指定難病や身体障害をお持ちの方が治療やリハビリ等を受けながら入院できる病棟。  
入院期間に制限なく、ご自宅への退院や必要に応じて他医療機関への転院が可能です。



## 「ハマっていること」



正信会水戸病院 2病棟

椿原 静香

皆さんは「〇〇沼」という言葉を聞いたことはありますか？好きな事や人にハマり、抜け出せなくなることを“底なし沼に嵌ったら抜け出せない”ことに例えていったことが始まりのようです。今回は私がハマっている「〇〇沼」のお話をします。

私はコロナ禍の前までは、好きなアーティストのライブに出掛けたり、旅行に出掛けたりするのを楽しみにしています。

ですが、皆さんもご存じの通り、コロナ禍によって、そのような娯楽は一時的にはあるものの、社会全体でなくなってしまった時期がありました。

時が経ち、世間的には旅行などで割引の制度が始まっても、仕事柄また、高齢の祖父母と同居しているため、なかなか旅行などに出掛ける気にはなりません。

そんな風に関心してきかされた事が出来なくなった時、「なんて私は無趣味な人間なのだろう」と思い、新たに何かを始めてみようという気になりました。そのとき気になったのは、元々好きだった文房具。その関連で出てきた万年筆やそのインク。またそのインクを手軽に使えるガラスペンなどです。そのころ好きなイラストレーターさんのコラボインクが発売された事で、私は通称「インク沼」という沼にハマってしまったのです。このことがあるまで知らなかったのですが、万年筆のインクは黒や紺だけではなく、色々な色があること、香りがついた物、ラメの入った物があること等々知るにつれて、さらに深みにはまっていきました。

それらを使って色んな事をするのはとても楽しく、良い気分転換になっているので深みに嵌り過ぎない程度にこれからも続けていきたいと思えます。



## 寄り道で見つけたスポット

## みちくさ

福岡市東区にあります、千早中央公園をご紹介します。こちらは平成20年に開園した公園となります。広々としたグラウンド、また遊具がありグラウンドの周辺はウォーキングコースとなっています。ここは以前、旧国鉄の香椎操車場がありました。

操車場とは車両の駐車場のことで、戦時中、昭和17年に開設したそうで昭和59年まで利用されていたようです。歴史にちなんだ場所となっておりますので一度行かれてみてはどうでしょうか。



## ●千早中央公園

福岡市東区千早4丁目12-8  
JR西鉄千早駅より徒歩5分

# 外来診療担当医のご案内

令和6年4月1日～

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前 9:00 ～ 12:00	第1診察室	吉松 卓也	富安 幸博	増田 住博	富安 幸博	白橋 斉	吉松 卓也
	第2診察室	尾林 秀幸	猪野 祥史	[循環器内科] 吉松 卓也	猪野 祥史	富安 幸博	小田 太士 ※第1-3 王寺 裕 ※第2-4-5
	第3診察室	井上 順	水戸 大樹	[総合内科] 河野 理子	水戸 大樹	井上 順	渡邊 豊吉
	第4診察室	[九大循環器内科] 近藤 萌	[九大神経内科] 岩尾 和紀		[リハビリテーション科] 小牧 ゆか	谷口 志保 ※第1-3	
	消化器検査	白橋 由美子(白橋 斉) 王寺 裕 ※第1-3	白橋 斉 ※第1-3 王寺 裕 ※第2-4-5	白橋 斉 ※第1-3-5 王寺 裕 ※第2-4	白橋 由美子 白橋 斉 ※第4	王寺 裕	白橋 斉
	小児科	藤原 崇・因てい子	因 てい子	藤原 崇・因てい子	藤原 崇	藤原 崇・因てい子	藤原 崇
	健診	富安 幸博 岩佐 一弘 ※第2-4	岩佐 一弘 井上 順	岩佐 一弘 白橋 由美子 ※第1-5 猪野 祥史 ※第2-4	尾林 秀幸 ※第1 白橋 斉 ※第2-5 岩佐 一弘 ※第4	白橋 由美子	尾林 秀幸 ※第1-3-5 猪野 祥史 ※第2-4 井上 順 ※第4
午後 13:30 ～ 17:00	第1診察室	白橋 斉	王寺 裕	尾林 秀幸	休 診	尾林 秀幸	休 診
	第2診察室	猪野 祥史	井上 順	河野 理子		水戸 大樹	
	第3診察室	[総合内科] 白橋 由美子					
	小児科	藤原 崇・因てい子	因 てい子	藤原 崇・因てい子		藤原 崇・因てい子	
17:00以降		当院医師または大学医師による交替制 (内科の外来診療は平日 19:00迄、土曜日は 12:00迄。但し急患はこの限りではありません。)					

● 午前の健診や検査の担当医は、外来診療には入りません。 ● 都合により担当医が変更になる場合がありますのでお問い合わせください。

## 24時間365日対応で訪問診療します

水戸病院では通院が困難な方のご自宅や施設へ医師、看護師が訪問を行っています。  
ご利用を希望の方は当院までお問い合わせください。



## 施設のご案内

■ 正信会水戸病院 TEL(092)935-3755 / FAX(092)935-6626

〒811-2298 福岡県粕屋郡須恵町大字旅石115-483 (須恵高校前・新生バス停前)

URL <https://www.s-mito.org> E-mail [info@s-mito.org](mailto:info@s-mito.org)



### 診療時間

月曜日・火曜日・水曜日・金曜日 / 9:00～19:00

木曜日・土曜日 / 9:00～12:00

木曜日・土曜日の午後、日曜日・祝祭日 / 休診

(急患はこの限りではありません)

介護医療院 ■ 水戸病院介護医療院 TEL(092)935-3755 FAX(092)935-6626

介護老人保健施設 ■ ニューライフ須恵 TEL(092)937-1055 FAX(092)931-8695

訪問看護 ■ あすなる訪問看護ステーション  
TEL(092)936-9653 FAX(092)936-9655

健康診断・人間ドック ■ 水戸病院 健診センター TEL(092)935-3799

通所リハビリテーション ■ 水戸病院 通所リハビリテーション TEL(092)410-2003

居宅介護支援事業所 ■ ケアワイド21 TEL(092)957-3321 FAX(092)957-3322

訪問介護事業所 ■ あすなるヘルパーステーション TEL(092)935-3896

住宅型有料老人ホーム ■ コンフォート須恵 TEL(092)935-3850 FAX(092)935-3851

通所介護事業所 ■ コンフォート須恵デイサービスセンター TEL(092)935-4150

■ 発行:医療法人社団正信会 理事長 増田住博 ■ 編集:水戸病院 広報企画委員会 ■ 印刷:(有)清原印刷

(注)「水戸病院だより」に掲載しております患者さまの顔写真等につきましては、御本人・御家族さまの了解を得ております。